

お子さま、ご友人を聖学院に！



聖学院大学大学院

聖学院大学 学務部教務課(入試窓口)
〒362-8585
埼玉県上尾市戸崎1番1号
TEL:048-780-1801
FAX:048-780-1804

秋期	出願期間	消印有効	試験日
	11/5(火)～11/16(土)		11/23(土)
春期	1/20(月)～2月1日(土)		2/8(土)



聖学院大学

聖学院大学アドミッションセンター AO 講義型：10/26(土)・12/14(土)・1/18(土)・2/18(火) レポート型：面談実施日
英語特別：10/26(土)・12/14(土)・1/18(土)・2/18(火) 9月～1月まで全10回実施
〒362-8585
埼玉県上尾市戸崎1番1号
TEL:048-725-6191
FAX:048-725-6891
推薦 公募(専願)：11/9(土)・12/14(土) 特別 帰国生・編入学：1/18(土)
キリスト教関係者：11/9(土) スポーツ：12/14(土)・1/18(土) 留学生：10/26(土)、11/23(土)、
一般 A:1/28(火)、B:2/18(火)、C:3/3(火)、D:3/12(木)、E:3/24(火) 1/18(土)、2/22(土)



聖学院中学校高等学校

〒114-8502
東京都北区中里3丁目12番1号
TEL:03-3917-1121
FAX:03-3917-1123
一般 2/1(土)午前、2/2(日)午前
※その他入試につきましては、WEBサイトをご確認ください



女子聖学院中学校高等学校

〒114-8574
東京都北区中里3丁目12番2号
TEL:03-3917-2277
FAX:03-3917-3680
第1回 2/1(土)午前 第4回 2/3(月)午後
第2回 2/1(土)午後 第5回 2/4(火)午後
第3回 2/2(日)午後
※その他入試につきましては、WEBサイトをご確認ください



聖学院小学校

〒114-8574
東京都北区中里3丁目13番1号
TEL:03-3917-1555
FAX:03-3917-1554
2020年度の出願は終了いたしました。



聖学院幼稚園

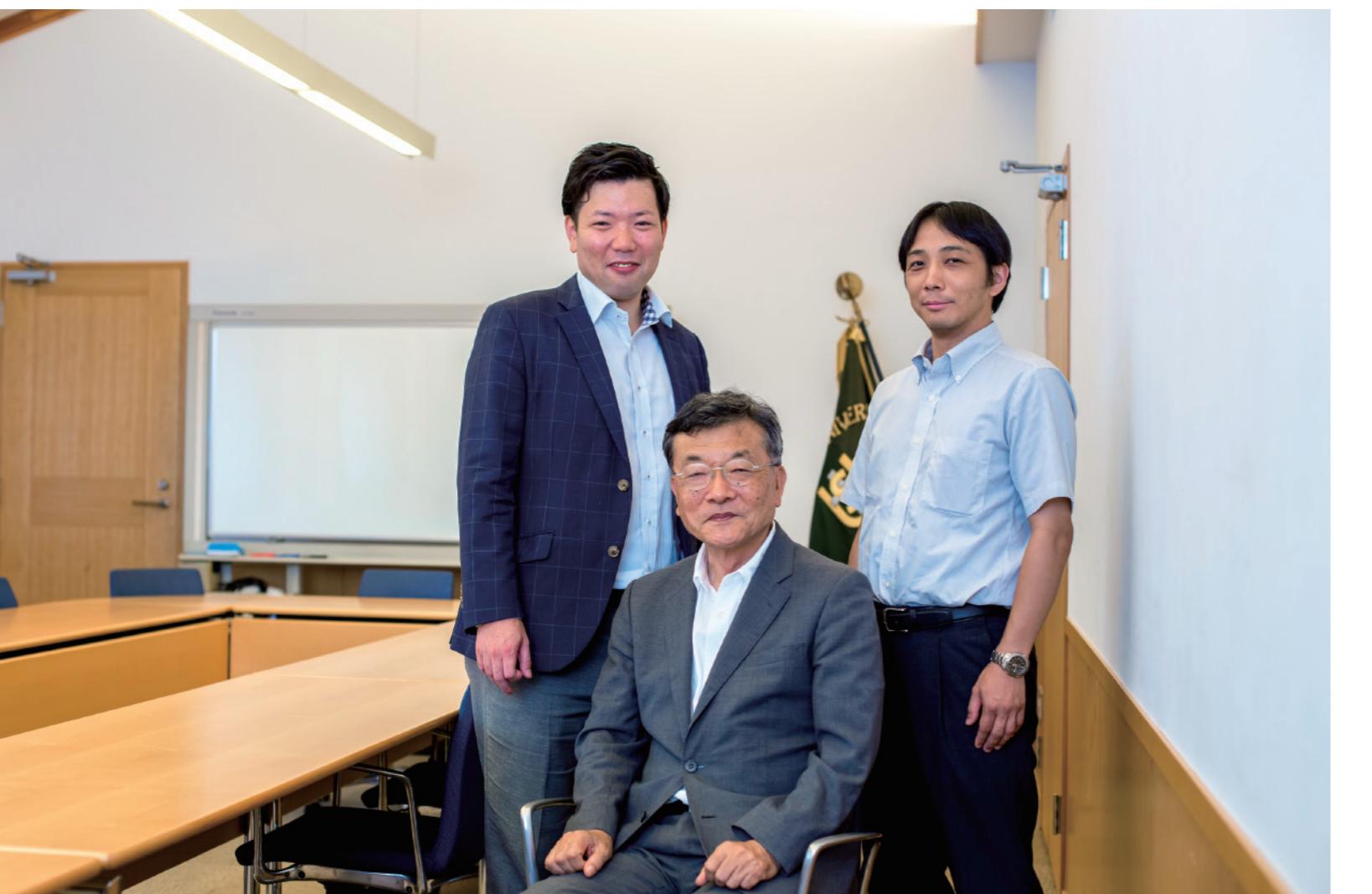
〒114-8574
東京都北区中里3丁目13番2号
TEL:03-3917-2725
FAX:03-3917-1739
願書配布 10/15(火)～10/29(火) 平日午前8時～午後4時
願書受付 10/30(水) 午前8時～正午
行動観察・保護者面接 10/31(木)



聖学院みどり幼稚園

〒331-0045
埼玉県さいたま市西区内野本郷820
TEL:048-622-3864
FAX:048-625-1822
願書配布 10/16(水)～ 平日午前10時～午後4時(土日を除く)
願書受付 11/1(金) 午前8時～午前10時
入園面接 11/1(金) 受付順に午前10時より面接開始





清水学長 & 秋谷副会長・島田副会長 対談

「誰一人取り残さない」世界の実現のために

2018年4月、学校法人聖学院は

「SDGs(Sustainable Development Goals)」達成を推進するグローバルコンパクトに署名、加入しました。

このことが持つ意義、具体的な活動について、

理事長として学長としての双方のお立場から、清水正之先生にお話を伺いました。

写真(左)同窓会 副会長 秋谷 大輔 (中央)学校法人聖学院 理事長・聖学院大学学長 清水 正之 (右)同窓会 副会長 島田 大輔



§ 1 SDGsに署名した理由と背景

秋谷 本日はよろしくお願ひいたします。早速ですが、過日「NEWS LETTER No.57 Jun. 2019¹⁾」が自宅に届きまして、いつもより厚めの冊子だったこともあって早速手に取って眺めてみたところ、「特集 聖学院とSDGs」という興味深い記事が掲載されていました。



島田 昨今では上場企業を中心に企業価値を高めるものとして、にわかにその導入が進んでいるようです。

学長 大手広告代理店の調べによると、SDGsの日本での認知率は社会全般で14.8%²⁾だそうです。日本では、まだ個人レベルにまでその概念が十分に浸透しているとは言い難い状況です。一方で同時に調査した共感度は73.1%と高い数字を示していました、今後理解が進めば活動につながるものと思います。³⁾電通「SDGsに関する生活者調査」2018年

秋谷 私は、青年会議所に入会している関係でそちらからSDGsのことを学びました。また6月に1号館で開催されたボランティア支援のためのドネーションパーティでも取り上げられるなど、徐々に広がりを見せていくと思います。ちなみにパーティの主催は、ボランティア活動支援センターでしたが、同窓会も共催という形で参加させていただきました⁴⁾。



▲ドネーションパーティの様子

島田 先ほどの「NEWS LETTER」や本学のサイトで、聖学院としての取り組みが丁寧に説明されていますが、せっかくの機会ですので、清水先生直々に全体像をレクチャーしていただけますか。

学長 はい、まずSDGsとは何かということからお話しします。読み方はエスディージーズ、日本語訳では「持続可能な開発目標」とされています。SDGsは、国連に加盟する193カ国全てがより良き将来を実現するため、今後15年かけて極度の貧困、不平等、不正義をなくし、私たちの地球を守るべくして採択した「アジェンダ2030」の計画にあたります。17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって『誰一人取り残さない』世界を実現しようという壮大なチャレンジです。策定されたのは2015年9月のことです。

秋谷 グローバル・コンパクトとの関係を教えていただけますか。

学長 この言葉の由来は、1999年のダボス会議(世界経済フォーラム)で、当時国連の事務総長を務めておられたアンン氏が「a global compact of shared values and principles, which will give a human face to the global market…」と発言したことにあるとされています。

国家を超えた約束という解釈になるでしょうか。グローバル・コンパクトを推進する機関「UNGCR国連グローバル・コンパクト」のホームページにはアンン氏のメッセージが紹介されています。

【引用】世界共通の理念と市場の力を結びつける力を探りましょう。民間企業のもつ創造力を結集し、弱い立場にある人々の願いや未来世代の必要に応えていこうではありませんか。



島田 本学は、これに署名、つまり約束したことですね。

学長 はい、日本におけるローカルネットワークである「GCN」:グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンに対して、署名に必要な条件であるグローバル・コンパクトの10の原則と「持続可能な開発目標」に賛同し実現に向けて努力することをコミットメントする形で署名、加入しました。それが昨年の4月です⁵⁾。

島田 署名した背景、経緯をお話いただけますか。

学長 昨年6月19日、学校法人聖学院は、歴代の理事長の念願でもあった長期ビジョンを発表しました。このプロジェクトをスタートさせたのは、2017年の秋です。「幻(ビジョン)のない民は滅びる」(箴言29章18節)の戒めを胸に、幾度となく検討を重ねた結果、「神を仰ぎ人に仕う」という建学の精神をベースに『将来の日本および国際社会に貢献する人間を育成へ~誰一人取り残さない』世界の実現を目指して』というキーメッセージを策定するに至りました。また、聖学院神学校創立120周年にあたる2023年までに、達成すべきアクションプランを設定しました。その際、建学の精神である「神を仰ぎ人に仕う」の理念をベースに、SDGsとして掲げる国際社会の目指すべき目標を、良き形でリンクさせたのです。SDGsは、本学のキリスト教的な理念を現実に落とし込む際に、具体的な形で目指すべき姿を示したものと考えています。

秋谷 よくわかりました。理念が具体的な形で示されていると言ふことですね。



学長 本学などキリスト教系の大学では「人に奉仕する」ということを大きな目標として掲げています。しかし、どういう形で奉仕するのかについて、あまり具体的でなかった。多くのキリスト教系大学がこのグローバルコンパクトに署名した理由の1つには、「人に奉仕する」「他者に奉仕する」というときの具体的な姿が示されているからじゃないでしょうか。企業活動においても、サステナブルな社会に向けて、こういう方向で、こういう考え方でと言っても、具体的にどういう社会を作っていくのかについては、曖昧だった。社会や、国なり世界に対し、それが非常に明確に提示された。文化圏を超えて国連全加盟国が納得したというのは一つの良識だと、多くの人が認めたということだと思います。

§2 聖学院の具体的な取り組み

島田 なるほど。聖学院としては、具体的にどんな取り組みがこれに該当するのでしょうか。



学長 法人全体としての取り組みは、2019年7月に提出した第一回目のCOE(コミュニケーション・オン・エンゲージメント)に整理されています。ホームページに掲載していますので、こちらをご覧ください⁵。いくつか事例を挙げますと、たとえば、パラスポーツ応援プロジェクト。聖学院高等学校と女子聖学院高等学校が協力し、車椅子バ

スケットの選手や視覚障害のある柔道選手をお招きし、生徒が一緒にパラスポーツの体験や応援をするプロジェクトです。選手への取材や、パラスポーツの魅力を伝える動画制作を通じて、自分たちに内在している「心のバリア」に気づいた生徒たちは、個々で考え方行動することを始めています。聖学院中学校・高等学校ではタイ北部チェンライにある孤児施設に訪問し、ボランティア活動を行う研修を30年前から実施しています。聖学院幼稚園、聖学院みどり幼稚園、聖学院小学校、女子聖学院中学校・高等学校、聖学院中学校・高等学校、本学と、それぞれのアプローチで良いと思っています。その中で、誰一人取り残さない、っていうのが、オール聖学院としての一つの筋目ですよね。

秋谷 大学での取り組みも総括いただけますか。

学長 大きな流れとして1つにはユニバーサル化への対応です。現在大学ではグローバルキャンパス化が進んでいます。各学年100～120人位の留学生がいて、まさに大学内の国際化は日常のことになってきています。SDGsでは、ジェンダー平等、ダイバーシティ環境について当然に言及しており、障がいの有無、性的マイノリティや性別、年齢、国籍、宗教、価値観などの多様性を尊重し、多種多様な人材をインクルージョン(包摂)する取り組みが求められています。細かな話ですが、7号館のトイレの内装を一新し、和式から洋式に入れ替えたり、4号館の食堂改修に際して学生の皆さんよりアンケート等で寄せられた意見を参考にしたりしたことは、広くはユニバーサル化の文脈として捉えることができます。2018年度から実施している「セカンドキャリア支援授業料免除制度(満40歳以上の入学者の授業料を50%減免)」においては、学部入学生としては最高齢となる77歳の鈴木いね子さん(日本文化学科)がTV番組に取り上げられる事例も生まれています。

秋谷 本学のボランティアは、しっかりと根付いた感がありますね。

学長 まずトピックとして、釜石市長より感謝状を贈呈されたことを報告しておきます。4自治体、2企業、2大学の8法人がこの対象となり、この

中で本学は拓殖大学とともに選ばれました。東日本大震災以降、高齢者への盆栽の配布、桜の木の植樹、シイタケ栽培の復活、避難所の慰問、子どもたちへのクリスマスプレゼントなど、地道に継続してきたことに感謝いただきました。ボランティア活動は、参加した学生の自己実現的な侧面もあります。釜石市ほかボランティアを受け入れてくださるみなさんには、心より感謝申し上げます。



島田 私(101L)は震災前に卒業していますが、ボランティアの根っこは元からあったように思います。記憶では坂村会長(98P)と同期の先輩が立ち上げたサークルが源流ではないかと。

学長 歴史的には創設直後、グレイスと呼ばれるようになるボランティア・アソシエーションが動き出し、自発的な活動の裾野が広がっていきました。東日本大震災を契機にそれら諸活動を支援するために、ボランティア活動支援センターを立ち上げたのが2012年の4月です。現在、ボランティア活動支援センターは、教職員14名と学生2名からなる運営委員会により展開され、活動の柱となる東日本大震災復興支援活動では、ボランティアスタディバスツアーや学生主体の復興支援活動の応援、被災地の復興を考える講演会、学生へ復興支援ボランティアの紹介などを行っています。7年目を迎えた昨年末には、「平成30年度ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

島田 本学のボランティア活動は、まさにSDGsの理念を体現している事例ですね。



§3 聖学院大学の近況報告

秋谷 さて、ここからは学部の状況も伺わせてください。

学長 昨年4月に開講した「心理福祉学部心理福祉学科」と「人文学部児童学科」についてですね。前者は、その名の通り、心理学と、福祉全般を学べることから相乗的に志願者が増えました。ここでは、地域社会における心理的なケアや福祉的活動に関わる、強い実践性を持った学びが得られます。特に公認心理師という具体的な国家資格が得られる場所として、必須条件を整えたことも大きな特長になっていると思います。後者は、児童学科を人文学部に移したことにより、国語教職が取れる日本文化学科、英語教職が取れる欧米学科、そして保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の免許取得が可能な児童学科が揃い踏みしました。結果、教員養成と言いましょうか、人間教育の場として1つに純化された形になります。特に人文の児童学科は従来から児

童英語、小学校英語に力を入れており、全国的にその名を知られている先生を多数擁しています。総じて「人を愛し、人を育む。」のための学部編成になったものと思います。

島田 全ての学科でローカルとグローバルの双方の視点が求められているのですね。ちなみに政経出身の私としては、卒業したコミュニティ政策学科が、無くなってしまっているので少々寂しい気持ちなりますが、留学生が地域活動に従事している今こそ、コミュニティ政策が盛り上がる時期だったように感じています。

学長 確かにそうですね。今後、ますます日本で生活する外国人は増えています。その局面では留学生に独特的意味付けが生じてきます。外国人の中に単純労働力、技術職などのレイヤーが生まれて、留学生は知的な層になります。つまり大学で学んだことによって、日本で生活する外国人の中でのリーダーとなることが期待されます。留学生がどのように地域に貢献するか、多様性を認めながらどう包括していくか、ダイバーシティの実際としてまさに旬の課題です。

秋谷 最後に同窓会に一言お願いいたします。

学長 学生会館を何とかして造りたい。都心の大学ではないので、キャンパス内の学生や同窓生の皆さんがふと立ち寄れる、開放的な学生会館が欲しいところです。是非ご寄付をお願いいたします(笑)。

秋谷 同窓会では毎年総会、ウェリタス際に合わせてカフェを開いているのですが、来訪者が少なく、集客につながる何かが欲しいところです。同窓生としても学生会館は確かに欲しいですね。

島田 陸上部の活躍ぶりはよく目にします。社会人になってから、自分の大学の名前が聞こえてくるというのは嬉しいことです。駅伝とか期待しています。

学長 「大学の名前を広めよう!」というのは、大学側も同窓会側も一致した希望ですね。今後は、卒業生を中心にコアなファンを作りたいですね。聖学院ブランドの幼稚園、小学校、中学校・高等学校の卒業生には、ご子息を是非母校にという方が多い。大学も是非そうしたいです。

秋谷 内部進学生も増えるといいですね。同窓会にも生糸の聖学院生がいますが、良い意味でどこか違うように感じています。勝手な希望ですが、私は、半分ぐらい内部生でも良いと思うぐらいです。愛校心を持って「聖学院ブランドを世の中に広めていく」。同窓会としても頑張ります。

島田 清水先生、ありがとうございました。

本文で紹介した情報へのリンク	PDF	
<small>*1 NEWS LETTER No.57 Jun. 2019</small>		
YouTube		PDF
<small>*2 ドネーションパーティ</small>		
PDF		<small>*3 UNGC:国連グローバル・コンパクト</small>
<small>*4 SDGs調査レポート</small>		PDF
<small>*5 学校法人 聖学院COE</small>		

Topics

4号館食堂改修&7号館手洗いを改修しました

学生の皆さんよりアンケート等で寄せられた意見をもとによりよいキャンパスライフを過ごすことができるよう、利便性だけではなく、居心地の良い雰囲気作りなども工夫しています。4号館食堂は今後、掲示板の設置のほか、1階男子手洗い扉の改修を予定しています。7号館手洗いは和式から洋式に入れ替えのうえ、内装も一新いたしました。12月にウォシュレットを設置を予定しております。



4号館食堂▶



7号館手洗い▶

Invitation

聖学院大学同窓会 通常総会のご案内

下記の通り通常総会を開催いたします。
ご多忙とは存じますが、ご出席の程よろしくお願ひいたします。

2019年11月2日(土)11:00~12:00

聖学院大学 7号館 7101教室

当日会場の都合により変更となる場合がございます

- 〈1〉2018年度活動報告
- 〈2〉2018年度決算報告
- 〈3〉2019年度事業計画(案)
- 〈4〉2019年度予算(案)
- 〈5〉質疑応答

当日はヴェリタス祭開催中のため、
お車でのご来場につきましてはご遠慮下さいますようお願いいたします。

同窓会の活動

同窓会では会員のみなさまに定期的に会報誌の発行を行い、
ホームページにて活動の状況をご報告しております。

- ① 年に一度、会報誌をご送付いたします。
会報誌等は卒業時に登録していただいた住所に送付いたします。

- ② 総会報告等活動内容につきましてはホームページにてご報告いたします。
ホームページアドレス <http://www.seig-dousou.com>

ご住所を変更される場合、
下記の方法でご連絡下さいますよう
お願いいたします。

HPの場合

専用の入力フォームに変更内容を入力し、
送信下さい。

郵送の場合

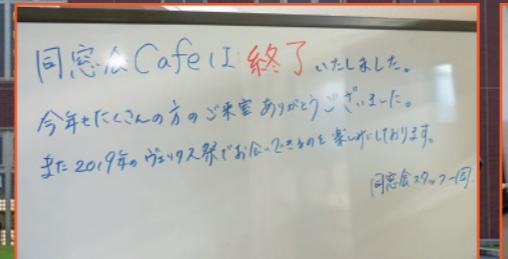
〒362-8585埼玉県上尾市戸崎1-1
聖学院大学同窓会事務局宛まで
郵送下さい。

E-mailの場合

dousou@seigakuin-univ.ac.jpに送信下さい。
学籍番号・お名前(旧姓/振り仮名)・新住所・
電話番号・メールアドレスをご記入下さい。

近年会報誌が住所不明で返送される
件数が増加しています。
卒業後お住まいを変更された方は、
お手数ですが、登録住所の変更をお
願いいたします。

Veritas 2019 11.1 to 2



同窓会専用ホームページで
お待ちしております。



無料のドリンクバーを設ける予定です。例年人気のエスプレッソマシンもご用意いたしますので、ゆっくりとおくつろぎください。また各卒業年度の卒業アルバムを閲覧いただけますのでお楽しみください。

場所： 2403教室(予定)

豚汁もお楽しみに。



毎年恒例の豚汁をお出しいたします。13時開始予定ですが、材料がなくなり次第終了となりますので、お早めにご来場ください。

(天候、調理進行状況次第で、実施中止あるいは開始時刻の変更が生じる場合がございます。悪しからずご了承下さい)

場所： エルピス館食堂外 13時～なくなり次第終了

同窓会役員一同、美味しい豚汁とコーヒーを用意してお待ちしております。年に一度のヴェリタス祭、是非お越しください。

聖学院大学同窓会研修会合宿開催

2019年6月1日～2日、栃木県宇都宮市の宇都宮コンファレンスホールにて、研修会合宿を開催しました。昨年度は聖学院大学創立30周年を迎え、同窓会は設立25周年となりました。私たち卒業生は、聖学院大学で多くの学び、そして社会でそれが活躍をしています。今になって思うことは、聖学院大学での学びが今を生きるために役立つことが非常に多かったです。私は1998年に入学しましたが、当時としてはまだ普及率がそれほどでもなかったPCのスキル習得の必修化やプレゼンテーション等を積極的に行う等、母校での学びがどれほど大きな影響を与えてくれたか、思い起こすことばかりです。創立30周年を過ぎた今、母校のこれまで以上の発展に貢献することが、私たち卒業生の役目です。そのための対策等、この2日間で十分に協議して参りました。

